

胆江地区で企業の森活動が活発化

1 はじめに

企業が社会貢献活動の一環として、森林所有者と協定を結び、森林整備を行う「企業の森」の活動が胆江地区で盛んに行われています。

平成27年には、5月に(株)デンソー岩手(金ケ崎町)、東京エレクトロン東北(奥州市江刺区)が活動を実施しました。

2 (株)デンソー岩手の取組

(株)デンソー岩手は、平成27年1月に県南地方振興局と、平成32年3月を終期とする企業の森づくり活動に関する協定を締結しました。

同社では、平成26年まで金ケ崎町にある県所有の千貫石森林公園で活動を行っていましたが、同公園での活動を継続することとしたものです。

活動場所は、前回の隣接地面積2.23haで、枝打ち、除伐等の保育作業を行うこととしています。

27年度の第1回目の活動は、去る5月24日に行われ、社員とその家族50名ほどが参加し、精力的に作業に取り組みました。

同社では、秋にも活動を行うこととしています。



【協定締結式】



【枝打ち作業】



【参加者全員での記念撮影】

3 東京エレクトロン東北(株)の取組

東京エレクトロン東北(株)は、奥州市と県南広域振興局との間で、平成23年4月に平成28年3月を終期とする協定を締結し、面積1.53haの植林活動を行うこととしています。

協定期間の最終年度の今年度は、去る5月30日に、同社工場隣接地の奥州市有林で、コナラ等700本の植栽を行いました。当日は、社員とその家族200名が参加し、真夏日の中、汗を流しました。

小学生を含む家族連れでの参加が多く、子供たちも森づくりの大変さも理解できたのではないかと感じました。同社では、次年度以降も活動を継続することとしています。



【参加者全員での記念撮影】



【植樹の状況】

4 おわりに

胆江地区では、7月以降も、いわて生協などの活動が予定されています。県南局では、環境保全に取り組む企業の森づくり活動の支援に継続して取り組んでいきます。